

## 工藤篤子メールマガジン 116号 2007.12.13

### 元気もらったコンサート 愛のうちにいる者

8月にハンブルクからブラジルへ行き、9月に日本に来ましたが、その後は、矢のように時は過ぎてゆきました。

気が付くと、もう12月、すでに3つのクリスマス・コンサートをさせていただきました。

これまで、時折の疲労感と格闘しながらも、体調も声も守られてきました。

すべて主の恵みと守りであったことを心から感謝しています。

### 元気もらったコンサート



秋の最後のコンサートが11月28日の所沢福音キリスト教会で開かれました。しかし、私の体は、8月から続いたコンサート活動の中、鈍痛のような蓄積疲労を感じるようになっていました。

ところが、この日のコンサートでは、歌った私の方が、溢れる御霊の臨在の中で、主から大きな慰めと励ましと力を受けたのです。主の栄光、ご臨在、御霊の導きを大きく感じるコンサートはよくありますが、全身全霊で歌った後は、大きな疲労感に襲われるのが普通です。ところが、こ

この日のコンサートの後は、夜遅く大阪に戻ってからも、疲れるどころが、心と体は喜びと活力に満たされ、翌日も翌々日も元気良く目覚めたのには、私自身、大変驚きました。

これは、教会の方々が熱心な祈りと準備を重ねてこられたからか、外部でも多くの切なる祈りが捧げられたからか、私のたましいがいつもより砕かれていたからか…あるいは、その全部が結集した結果だったのかもしれませんが。(写真:所沢福音キリスト教会コンサートで証しているところ)

### 愛のうちにいる者

ひとつ分かっていることは、私自身が、この日のコンサート前に、大きな悔い改めに導かれたことです。その数日前、大阪を離れた静かな場所で、主の御前に静まる一日を持ちました。そのとき、気づかないうちに、ある人に隔ての壁を築いてしまったことを、主から示されたのです。別にその人を嫌ってい

るわけでも、気まずい関係になった訳でもありません。けれども、私がおのの人に対してある出来事でお不快感を覚え、心の中でその人を「切ってしまった」ことを示されたのです。

**神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにあり、神もおのの人のうちにおられます。**

(Iヨハネ 4:16)



一人の人に対して小さな隔ての壁を作ること

ですら、もう、自分は神の愛からはみ出ている者であること、さらには神御自身からはみ出てしまい、神も私のうちにいることが出来ないことを、このみことばから悟られました。愛を語り賛美する者が、実は愛のうちにいなかったのです。

しばらくの悔い改めの後、主に赦された喜びで心満たされ、大阪に戻りました。

あと、5回のクリスマス・コンサートを控えています。大変忙しい毎日です。しかし、どのような時にも、私が主との交わりを第一とし、主から力と導きを受けて、素晴らしい「救いのおとずれ」のメッセージを、コンサートを通してお伝えすることが出来ますよう、お祈りください。

12月14日(金)新潟、敬和学園 クリスマス礼拝コンサート 10:50~

12月15日(土)都市綜研インベストバンクのセミナーにて、賛美と証し

12月19日(水)一麦西宮教会キャンドルサービス 19:00~21:00 連絡先:教会、神部先生 0798-64-5101

12月22日(土)旭川福音教会クリスマス・コンサート 18:00~ 連絡先:教会 0166-32-6348

12月24日(月)札幌聖書キリスト教会 「クリスマスコンサート」 15:00~17:00 連絡先:教会 011-874-6697

---

寒さの中、皆様のご健康が守られますように。

そして、どうぞ祝されたアドベントをお過ごしください!

工藤篤子